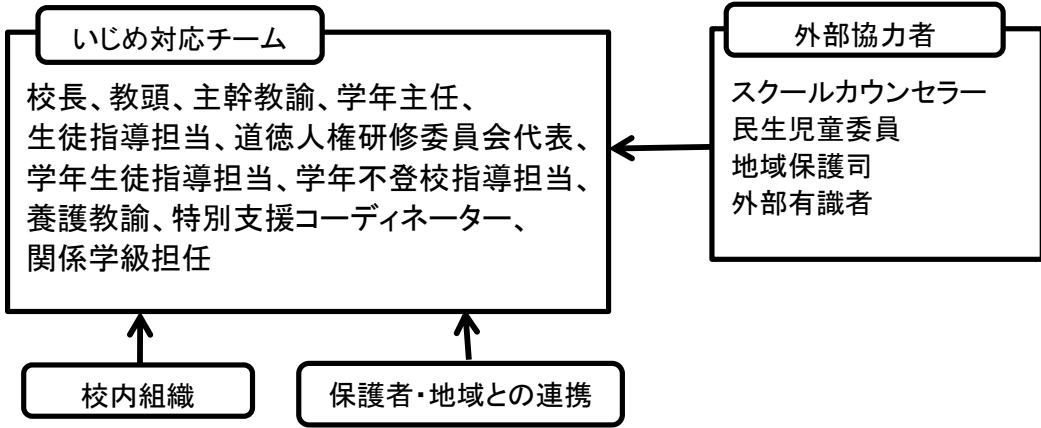


校内指導体制及び関係機関

- 1 「いじめは絶対に許さない」「いじめを根絶する」という強い意志のもとで、学校全体で組織的な取り組みを行う。(人権教育・道徳教育・体験教育・特別活動等)
- 2 いじめ問題への組織的な取り組みを推進していくため、いじめ問題への対応に特化した機動的な「いじめ対応チーム」を設置する。
- 3 「いじめ対応チーム」を中心として、特定の教員がいじめ問題を抱え込むことのないように、教職員全体で共通理解を図り、報告・連絡・相談(ホウレンソウ)を確実に行之、学校全体で総合的ないじめ対策を行う。
- 4 生徒の状況や地域の実態に応じた取り組みを展開するために、アンケート等を活用



- 管理職**
- ・学校いじめ防止基本方針
 - ・いじめを許さない姿勢
 - ・風通しのよい職場環境
 - ・保護者、地域との連携

- いじめ対応チーム**
- ・学校いじめ防止基本方針の見直し、改善
 - ・年間指導計画の作成、実施、改善
 - ・校内研修会の企画、実施
 - ・アンケート結果、報告等情報の整理
 - ・いじめが疑われる案件の事実確認、判断
 - ・要配慮生徒への支援方針

- 早期発見**
- 情報収集
 - ・教職員(養護教諭)の見守りによる気づき
 - ・生徒・保護者・地域からの情報
 - ・登校指導
 - ・アンケートの実施
 - ・教育相談の実施
 - 相談体制の確立
 - ・スクールカウンセラーの活用
 - 情報の共有
 - ・「報告・連絡・相談」の徹底
 - ・要配慮生徒の実態把握
 - ・次年度への申し送り事項の周知

- 未然防止**
- 学習指導の充実
 - ・学習における規律作り
 - ・学びに向かう集団作り
 - ・意欲的に取り組む授業研究
 - 特別活動の充実
 - ・学級活動の充実
 - ・ボランティア活動への積極的な参加
 - 教育相談の充実
 - ・教育相談の定期開催
 - ・スクールカウンセラーの活用
 - 人権教育の充実
 - ・人権意識の高揚
 - 情報教育の充実
 - ・情報モラルの指導
 - ・情報モラル教室の開催
 - 保護者・地域との連携
 - ・学校いじめ防止基本方針等の周知
 - ・オープンスクールの実施

早期発見のチェックリスト

いじめが起こりやすい・起こっている集

- 朝いつも誰かの机が曲がっている
- 掲示物が破れていたり落書きがあつたりする
- 特定の子どもに気を遣っている雰囲気がある
- 学級やグループの中で絶えず周りの顔をうかがう子どもがいる
- 自分たちのグループだけでまとまり、他を寄せつけない雰囲気がある
- 授業中、教職員に見えないようにいたづらをする
- 大人に平気で嘘をつく
- 教職員がいないと掃除がきちんとできない
- グループ分けをすると特定の子どもが残る
- 些細なことで冷やかしたりするグループがある

いじめられている子

◎日常の行動・表情の様子

- わざとらしくはしゃいでいる
- 下を向いて視線を合わせようとしない
- 早退や一人で下校することが増えた
- 腹痛など体調不良を訴えて保健室へ行きたがる
- いつもみんなの行動を気にし、目立たないようにしている
- 友だちの悪口を言われても言い返さなかったり、愛想笑いをしたりする
- おどおど、にやにや、にたにたしている
- 顔色が悪く、元気がない
- 遅刻、欠席が多くなる
- ときどき涙ぐんでいる

◎授業中・休み時間

- 発言すると友だちから冷やかされる
- 班編成の時に孤立しがちである
- 学習意欲が減退し、忘れ物が増える
- 一人でいることが多い
- 教室へいつも遅れて入ってくる
- 教職員に近くにいたがる

◎昼食時

- 好きな物を他の子どもにあげる
- 食事の量が減ったり、食べなかったりする
- 教室で一人で食べている
- 周りの生徒の机から少し離れている
- 弁当などにいたづらをされる

◎清掃時

- みんなが避けるそうじをさせられている
- 一人で離れて掃除をしている

◎その他

- トイレなどに個人を中傷するような落書きがある
- 私物を隠されたり、壊されたりする
- 部活動が休みがちで、やめたいという。
- ボタンが取れていたり、ポケットが破れたりしている
- 持ち物や机、棚に落書きをされる
- 成績が突然下がる
- 衣類に靴の跡などがついてる
- 身体にすり傷やあざがある

いじめている子

- 多くのストレスを抱えている
- あからさまに、教職員の機嫌をとる
- 教職員によって態度を変える
- グループで行動し、他の子どもに指示を出す
- 活発に活動するが他の子どもにきつい言葉をつかう
- 教師が近づくと集団が黙り、コソコソする
- 家や学校で悪者扱いされていると思っている
- 特定の子どもにのみ強い仲間意識をもつ
- 教職員の指導を素直に受け入れられない
- 他の子どもに対して威嚇する表情をする
- 発言の内容に差別意識が感じられる
- 教師が近づくと集団が分散する

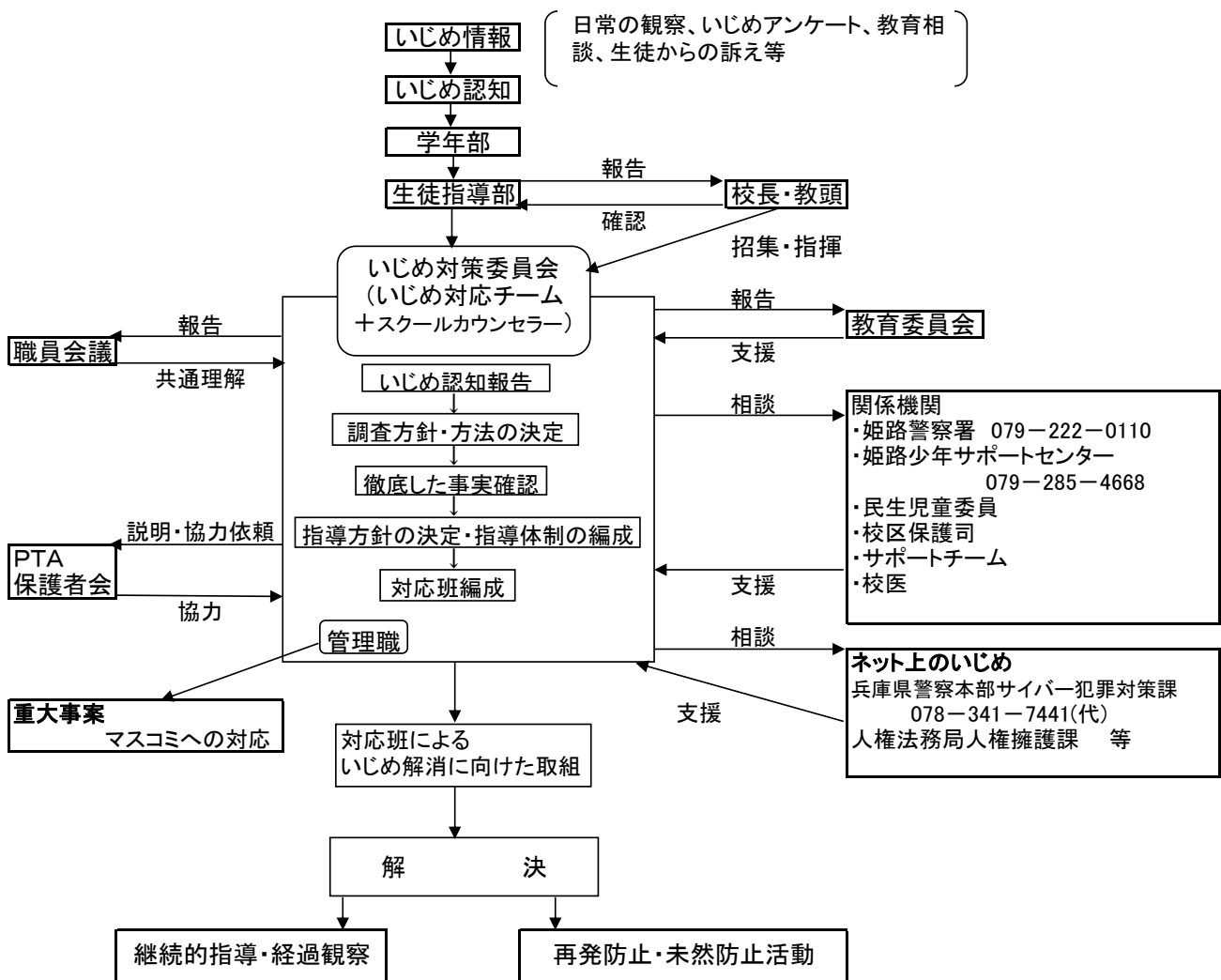
年間指導計画

	4月	5月	6月	7月	8月
職員会議・研修等	事故発生時、緊急対応会議の開催 ※				
	いじめ対応チーム会議(運営委員会後に開催)			教育相談研修会	
未然防止に向けた取組	生徒指導部会 (毎週金曜日、各学年の生徒指導部より生徒の様子を共通理解)				
	いじめの未然防止に関する職員研修	PTA総会における保護者向け啓発活動	小中連絡会による情報収集	「命の授業」 1, 3年生対象	
早期発見に向けた取組	「心の教育」				
		Q-Uテスト	あいさつ運動(PTA・教職員)		
職員会議・研修等	年間指導計画立				
	職員会議(研修会)①※2			カウンセリングマインド研修会①※5	
未然防止に向けた取組	生徒指導部会 (毎週金曜日、各学年の生徒指導部より生徒の様子を共通理解)				
	いじめ問題アンケート①※3		教育相談	個別懇談会①	

- ※1 緊急対応会議: 事案発生時には、いじめ対応チームによる緊急対応会議を開き、対応する。
- ※2 職員会議(研修会)①: いじめ防止基本方針を確認し、指導方針や指導計画を提示し、全教職員で共通理解を図る。
- ※3 いじめ問題アンケート: いじめの実態を把握するためのもので、原則として学期に1回実施する。
- ※4 PTA総会における保護者向け啓発活動: 学校の指導方針を保護者へ説明し、周知する。
- ※5 カウンセリングマインド研修会: 外部講師(スクールカウンセラー等)を招いての研修等、本校の実態に即したことを中心に実効性の高い研修を実施する。但し、小中一貫教育の一環として小中学校職員に共通した内容の研修とする。

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
職員会議・研修等	事故発生時、緊急対応会議の開催						
	いじめ対応チーム会議(運営委員会後に開催)					今年度の反省と次年度の課題	
未然防止に向けた取組	生徒指導部会 (毎週金曜日、各学年の生徒指導部より生徒の様子を共通理解)						
		いじめ防止週間	保、幼、小、中学校保護者対象情報教育研修会	1年自然教室			
早期発見に向けた取組	「心の教育」						
	あいさつ運動(PTA・教職員)						
職員会議・研修等	いじめ問題アンケート②						
		いじめ問題アンケート②	教育相談	個別懇談会		いじめ問題アンケート③	
未然防止に向けた取組	生徒指導部会 (毎週金曜日、各学年の生徒指導部より生徒の様子を共通理解)						
						教育相談	

組織的対応



- 被害者やいじめを知らせてくれた生徒等に十分配慮し、事実確認をする。
 - ・いじめを発見したときは、ただちに加害者、被害者の双方から事実関係を聞き取り、聞き取った内容については周辺生徒からも状況を聞き取る。
 - ・必要に応じて、全校あるいは学年のアンケートを実施する。
- 双方の保護者に説明をする。
- 双方の保護者と関係職員を交えて、関係改善を行うとともに、傍観者への指導も行う。